

ふるさと納税寄付金の 主な活用事業（令和6年度）

当別町ではふるさと納税制度を活用して、町出身の方や町を応援したいという方から心のこもったご寄付をいただき、様々なまちづくりに活用しています。

今回は、令和6年度の寄付金の活用事業を紹介します。

令和6年度寄付実績
22億284万9,500円
このうち

合計
8億7,232万7037円を **48事業**で活用
※記載している事業費は、総事業費のうち
「ふるさと納税寄付金分」のみの金額です。

移住・定住促進施策

住宅購入支援金事業 5,875万円

当別町では、町外からの移住促進や町民の定住を目指して「住宅購入支援金事業」を展開しています。この事業は、令和4年1月1日以降に当別町内で新築住宅を購入された方を対象に「新築住宅購入支援金」を交付するものです。さらに、令和6年度からは中古住宅も支援の対象に加えることで、より幅広い層への支援を可能にしました。本事業は、移住者を増やし定住を促進することで地域の活性化を目指す取り組みの一環として位置づけられています。

令和6年度は、85件（新築住宅52件、中古住宅33件）に支援金を交付し、町外からの転入は159人でした。

今後も当別町では、この事業を通じて移住者や定住者を支援し、地域活性化を目指す取り組みをさらに進めていきます。

高等学校等生徒通学交通費助成事業 260万円

子育て世帯の経済的負担を軽減し町民の定住促進を図るため、公共交通機関を利用し通学する高校生の保護者に対し、通学定期券購入費用の一部を助成しています。

令和6年度は、町内から通学する高校生128名へ助成を行いました。

この助成は、保護者にとって大きな経済的支援となるだけでなく、若い世代が安心して教育を受けられる環境作りに寄与しています。

教育・子育て施策

学校空調設備整備事業 7,699万円

近年、日本全国で猛暑や異常気象が頻発しており、それに伴う健康リスクや学習環境への影響が懸念されています。

このような課題に迅速に対応するため、全ての児童生徒が安心して学べる環境を提供することを目指し、町内の学校施設にて空調設備整備事業を実施しました。（R6年度においては、西当別小・中学校への設置、とうべつ学園の実施設計）

この取り組みを通じて、より安心・安全な教育環境を整え、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を支える基盤を整備していきます。



この他、西当別支所設置事業（2,272万円）、子ども医療費助成事業（2,407万円）・医療機関誘致事業（1,140万円）やスクールバス運営事業（7,860万円）・教育情報システム運用事業（2,267万円）などに活用しています。

■問合せ

セールス戦略課ふるさとプロモーション係
（☎ 23 - 3042）